

血統の物語性と競馬

氏名：大野出海
指導教員：小谷 浩示

研究背景

個人が競馬を続ける過程では、金銭的負担や罪悪感といった心理的葛藤がしばしば生じるが、そのような葛藤を抱えながらも「何故、人は競馬を止めず継続するのか」という問いは十分に検討されてこなかった。既存研究では、ギャンブルの継続が金銭的欲求だけでなく、他の要素によって説明され得る事が示されている。しかし、競馬固有の要素である馬の血統の歴史や継承から紡がれる物語の魅力が競馬参加行動と如何に結びついているのか検証する研究は行われていない。

研究目的

本研究は、競馬の継続的参加を規定する要因を明らかにすることを目的とする。リサーチクエッションとして「どのような人が、どういった要因によって競馬を継続し熱中するのか」、仮説として「金銭的要因に加え、非金銭的要因として競馬特有である馬の血統への物語性に魅了されている人が、競馬を続けるのめりこんでいく」と設定し、その実証を行った。

研究方法

競馬場、競馬愛好者が集まるオンラインコミュニティの競馬愛好会において、105人対象の質問票調査を実施した。人間が競馬を継続的に行き没入する背景には、どのような要因が効いているのか明らかにする為、統計分析を行いその関連を検証した。

分析結果

統計分析の結果、馬の血統にロマンや物語性を感じる人は、競馬歴が長い傾向にあり、競馬を行う頻度も高くなる傾向にある事が示された。

考察・結論

馬の血統にロマンや物語性を感じる人は、競馬歴が長い傾向にあり、競馬を行う頻度も高くなる傾向にある事が示された。よって、人が競馬を継続的に行ってしまう背景には、自制心の欠如、ギャンブル依存といった個人の病理、金銭的欲望のみで捉えきれない側面が存在し、競馬が内包する血統継承の物語的要素が効いていると考えられる。